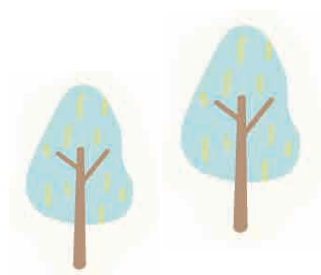


目次

- 第51回IHC会議 (EIGA主催) に参加 1
- 賛助会員一株式会社CRC西日本 3
- 令和4年度 和歌山県 大規模地震時医療活動訓練 4
- 医療ガス容器点検キャンペーンを定着させよう～医療ガス容器保安対策指針の推進～ 5
- 2022年度上期発行のJIMGA基準・指針類のご紹介 7
- 在宅酸素療法火災予防啓発動画(2022年版)リリースについて 9
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2022年8月15日～2022年10月15日掲載— 10
- 新事務局員の紹介 12
- 気ままにコラム 13



第51回IHC会議(EIGA主催)に参加

第51回IHC（International Harmonization Council）会議は、8月23日、24日にベルギー・ブリュッセルにあるEIGA本部で2年半ぶりに対面方式で開催されました。参加者は、AIGA（アジア）1名、EIGA（ヨーロッパ）3名、CGA（アメリカ）2名、JIMGA（日本）2名の参加に加え、IOMA-GC（International Oxygen Manufacturers Association - Global Committee/国際酸素製造者協会-国際委員会）オブザーバー4名（Air Products、American Air Liquide Holdings、Linde、Nippon Gases Europe）の総勢12名となりました。

主催者であるEIGAのJan Strybol氏からの歓迎の挨拶の後、会議が開始されました。会議では、前回の第50回IHC Web会議（JIMGA主催）の議事録の確認を行った後、各協会から活動状況について報告がされました。AIGAとEIGAからはWebinarや対面での教育や事故情報の収集とその共有方法について、CGAからは安全セミナーの開催や水素エネルギー社会を見据えての業界を越えた安全基準共有方法についての報告がありました。JIMGAからは、6月の総会で、上原新会長体制となり、組織改革が進行中であることを報告しました。

続いてRich Gottwald氏（CGA）とPhillipe Cornille氏（EIGA）から今年5月2日に行われたIOMA GCウェブ会議の報告が行われ、引き続き持続可能性指標の重要ポイントである二酸化炭素排出の計算方法と水素エネルギー関連への取組みが注目されていることが報告されました。前者については、現在、合同作業部会（JWG）においてGHGプロトコル※に沿ったガイドラインとするよう議論が重ねられています。水素エネルギー関連については、今後IHCとして4協会参加のタスクフォース会議を立ち上げ、適用範囲等について協議していくことが決まりました。2022年度のIOMA国際統合化功労賞受賞者は、2022年10月のIOMA総会（ポルトガル、シントラ）で2020年度、2021年度受賞者とともに表彰されることが報告されました。

※GHGプロトコル：温室効果ガス（Green House Gas/GHG）の排出量を算定・報告する際の国際的な基準



第51回IHC会議（8/23～24、EIGA主催）の様子

国際整合化指針については既存プロジェクトの進捗確認を行いました。また、新規プロジェクトとして「水素ベントシステム」、ならびに新規改訂プロジェクトとして「水素用PSAの機械保全」、「往復動酸素圧縮機安全指針」、「液化及び低温酸素用バルブの設計、製造、据付、運転及び保全」、および「加圧酸素製造用ろう付アルミニウム製熱交換器の安全な使用」について作業を開始することが決まりました。更に、国際整合化指針の既存作成プロセスについての紹介があり、次回会議でその見直しの議論をすることとなりました。次回第52回会議（AIGA主催）は、2023年2月28、3月1日にシンガポールで開催される予定です。

会議の他に、ベルギー国内唯一の水素ステーションを見学する機会がありました。オフサイトで水素圧縮機により充填を行う方式で、充填カプラーとして35MPaと70MPa用が準備されており、35MPa用については乗用車用とバス用の2系統が備わっていました。ベルギー国内において現在FCバス1台を運用し、実証データを取得しているとの説明がありました。

（国際部会 IHC対応WG長（大陽日酸株式会社）久和野 敏明）



水素ステーション
（ベルギー・ブリュッセル）



賛助会員 — 株式会社CRC西日本 —

沿革

当社は産業ガス業界の社会的責任を全うするため、高圧ガス容器のくず化処理、および不明容器等の処理を行う目的で、当時のJIGAに加入する15社によって2003年11月に設立されました。

アセチレンは2004年4月より受け入れを開始し、特殊ガスは2004年7月からガス種を限定して受け入れ、2005年の第2期設備投資にて多くのガス種が受け入れ可能となりました。更に2018年に実施した増設にて、特殊ガスの受け入れ能力を増強しています。



本社工場全景

くず化処理能力と実績

くず化処理能力はアセチレンが年間4万本、特殊ガスは年間2千本です。創業当時、アセチレンは年間約4万本のくず化処理を実施していましたが、近年では2万本前後に減少となり、一方、特殊ガスは年間1千本前後を推移していましたが、昨年度は2千本近くまで数量が伸びています。

課題と取り組み

創業から約20年経過して設備の老朽化が進行し、数年前から大規模な修繕や設備の更新を実施しています。更に処理するガス種や容器も多様化したことから、設備の改善・改良、処理技術の開発にも取り組んでいます。

最後に

当社は安全・安心かつ安定的な操業を第一とし、公共の安全確保と環境保全の面からも、JIMGA会員企業の皆さまの要望やニーズに幅広く応えられるよう、日々取り組んでおります。



本社工場スタッフ

しかしながら、くず化処理が集中する時期には納期などでご期待に沿えない部分があり、ご迷惑をおかけすることもあります。容器のくず化処理は1品1品が特殊な仕様であり、非定常作業でもありますので、何卒ご理解いただけますよう紙面をお借りしましてお願い申し上げます。

(株式会社CRC西日本 代表取締役社長 島田 裕司)

株式会社CRC西日本の情報をJIMGAウェブサイトに掲載しています。
詳しくは下記の容器処理事業の紹介(株式会社CRC西日本)のページをご覧ください。
URL : https://www.jimga.or.jp/business/houchi_youki/crc/

令和4年度 和歌山県 大規模地震時医療活動訓練

令和4年10月1日(土) 和歌山県で大規模地震時医療活動訓練が行われました。JIMGA近畿地域本部和歌山県支部に、和歌山県業務課より医療用酸素のロジスティクス訓練への協力依頼がありました。

被害想定およびロジスティクス訓練参加団体

被害想定は以下のとおり。

- ・南海トラフ巨大地震（マグニチュード 9.1）
- ・令和4年9月30日（金）11時発生、県内最大震度7
- ・県内死者 90,400人、重傷者 9,800人、軽症者 29,800人

ロジスティクス訓練の参加団体は以下のとおり。

- 1) 一般社団法人日本産業・医療ガス協会 近畿地域本部和歌山県支部（酸素濃縮器・酸素ボンベ・液体酸素）
- 2) 和歌山県医薬品卸組合（医薬品）
- 3) 一般社団法人大阪医療機器協会（医療資材・分娩キット等）
- 4) 日本赤十字社和歌山県赤十字血液センター（血液製剤）



和歌山県防災ヘリコプター「きしゅう」による救助訓練

活動訓練の内容

JIMGAは、①白浜SCU（Staging Care Unit：広域搬送拠点臨時医療施設）への酸素ボンベ搬送、②加太SCUへの酸素濃縮装置搬送、③誠佑記念病院への液体酸素搬送を担当することになりました。今回は訓練のため模擬段ボールでの搬送となり、当日は11時頃から和歌山県災害対策本部業務班から電話による納入依頼を受信し、14時前までに全て搬送を完了いたしました。

ご協力いただいた会員会社の皆様

- ① 白浜SCUへの酸素ボンベ搬送では、エア・ウォーター西日本(株)和歌山支店様にご協力いただき、酸素ボンベ20本を南紀白浜空港内白浜SCUに搬送いたしました。
- ② 加太SCUへの酸素濃縮装置搬送は、和歌山酸素(株)様にご協力いただきました。
- ③ 誠佑記念病院への液体酸素搬送は、(株)タイガーマディカルガス様にご協力いただきました。



エア・ウォーター西日本(株)様による搬入の様子



和歌山酸素(株)様による搬入の様子

(近畿地域本部 事務局 徳富 栄一郎)

医療ガス容器点検キャンペーンを定着させよう～医療ガス容器保安対策指針の推進～

医療ガス容器保安対策指針の目的は？

医療ガス容器にかかわる全ての者が、高圧ガス保安法や医薬品医療機器等法等を遵守し、更に、医療ガスの適正管理や安全に消費を行うための自主的な活動を促進することによって、医療ガスによる事故および医療ガス容器の放置を防止することを目的としています。

医療ガス容器保安対策指針の目指すところは？

各都道府県の容器管理指針とともに医療ガス容器保安対策指針を活用し、容器の早期返却を促しながら容器の安全な取り扱いの啓発、そして「容器は貸与*」であることをお客さまにご理解いただいた上で医療ガス容器貸借契約の締結を推進します。

*) 容器を医療機関等が所有している場合は容器貸借契約の締結は関係ありませんが、容器の安全な取り扱いの啓発については同様の取り組みをお願いします。

具体的な行動は？

1. 容器管理の徹底

お客さまに定められた期間で容器返却を求めるためには、更なる容器の履歴管理が必要です。

- 容器管理システムによる履歴管理を徹底してください。
- お客さまにも容器の納入月や返却タイミングが一目でわかる「納入月ラベル」の貼付を推進します。お客さまにとっては容器の先入れ先出しが容易になります。

2. 容器点検キャンペーンの推進

1年に1回、容器の一斉点検キャンペーンを展開しJIMGA全体の取組みとして定着させていきます。

- 「高圧ガス容器特別回収月間（毎年10月）」および厚生労働省が主催する「医療安全推進週間（毎年11月下旬）」と連携し、医療ガス容器用のポスターを作成・配布し、容器点検キャンペーンを推進します。
- 医療ガス安全管理委員会に協力を仰ぎ、キャンペーン期間中に容器の一斉点検を行い、容器の保管状況の確認、調整器やバルブの不具合等事故誘因容器や長期停滞容器の発見（把握）を行ってください。また、併せて容器の安全講習会等を開催し容器の安全な取り扱い方法を啓発してください。

医療ガス安全管理通知「医療ガスの安全管理」では？

別添4. 職員研修指針で医療ガスボンベの安全管理に関する留意点が示され、特に「ボンベの長期留置又は放置による事故の発生を防止するため、医療ガス納入業者と協議の上、納入時期を明示するなどして定期的にボンベの点検及び管理を行うこと。」と記載されています。

啓発ポスターを制作しました

2022年版会員向け啓発ポスター（A2）を製作しました。9月中旬に各社に3部ずつお送りしておりますので、ご活用下さい。

▼医療ガス点検キャンペーンポスター ダウンロード用URL

<https://www.jimga.or.jp/document/?t=213869745563105ba8d7443>

また、JIMGAウェブサイトお知らせ（<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1254>）にも掲載しています。

（技術・保安グループ 事務局）

ストップ! 空ボンベの誤使用 ボンベの放置

**医療ガス容器
点検
キャンペーン**

2022年
10/1(土)~11/30(水)まで

容器の一齐点検

- 容器の保管状況の確認
(転倒防止装置、充空及び異種容器の区別等)
- 調整器やバルブの不具合等、事故誘因容器の確認
- 長期停滞容器の発見または把握

職員研修のサポート

- 医療ガス安全管理委員会が行う院内講習会をサポートし、容器の安全な取扱方法の啓発を推進

ボンベの長期留置又は放置による事故の発生及び空ボンベの誤使用を防止するため、医療ガス納入業者と協働の上、納入時期を明示するなどして定期的にボンベの点検及び管理を行うこと。

令和2年8月17日付け医政発0817第6号厚生労働省医政局長通知「医療ガスの安全管理について」における「別添4.医療ガスに係る安全管理のための職員研修指針」の医療ガスボンベの安全管理に関する留意点

監修 日本医療ガス学会 推進団体 一般社団法人 日本産業・医療ガス協会

2022年版ポスター

2022年度上期発行のJIMGA基準・指針類のご紹介

JIMGAでは会員の皆様に向け、各種基準・指針類を発行しております。2022年度上期に発行したJIMGA基準および指針をご紹介します。

「高圧ガス充填所/貯蔵所の新設/更新に関する指針」初版発行

- ・タイトル：高圧ガス充填所/貯蔵所の新設/更新に関する指針
- ・基準番号：JIMGA-T-S/117/22
- ・発行年月：2022.7（初版）

近年、気候変動により台風や集中豪雨等による深刻な被害が全国各地で同時多発的に発生し、頻発化・激甚化の可能性の高まりが指摘されています。JIMGAでは、今後実施される高圧ガス充填所/貯蔵所の新設/更新において、法的な技術上の基準だけでなく、自然災害対策を含めた基準を業界標準として推奨します。

指針の構成として、目次代わりに一覧表を配置して早見表とし、その後に詳細説明と図表/写真等を掲載しました。会員各社/事業者が必要事項を確認の上、詳細確認できるようにしています。共有できる対策例等は、JIMGA本部 充填技術WG事務局までご連絡をお願いいたします。今後は地域本部で開催する保安セミナー等での情報収集も反映の予定です。



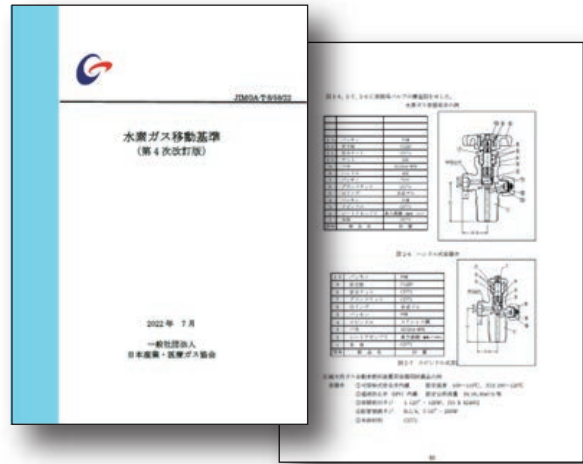
「水素ガス移動基準」改定版発行

- ・タイトル：水素ガス移動基準
- ・基準番号：JIMGA-T-S/58/22
- ・発行年月：2022.7（改訂4版）

水素ガス移動基準は2009年12月に第3次改訂を実施しましたが、既に10年以上が経過しており、この間、水素エネルギー社会到来に向けた新たな国家施策が急速に進み、さまざまな方面の法改正が進んでおります。本書も関連する法改正（例えば、圧縮水素スタンド技術基準等）を反映すべく、第4次改訂版を発行しました。

本書は水素ガスの輸送関係者など容器や移動式設備の取り扱い関係者向けに、水素ガスの移動に関する基準を幅広く記載しました。イラストや図版などを豊富に使用し、分かりやすく解説しており、全167ページと充実した内容になっています。

水素ガスの移動以外に関する、高圧ガスの一般知識や水素ガスの性質については、既刊の「水素ガスハンドブック」(JIMGA-T-S/53/18)を販売しておりますので、ご参照ください。今年度は「水素ガス消費基準」(JIMGA-T-S/78/12)の改訂も予定しています



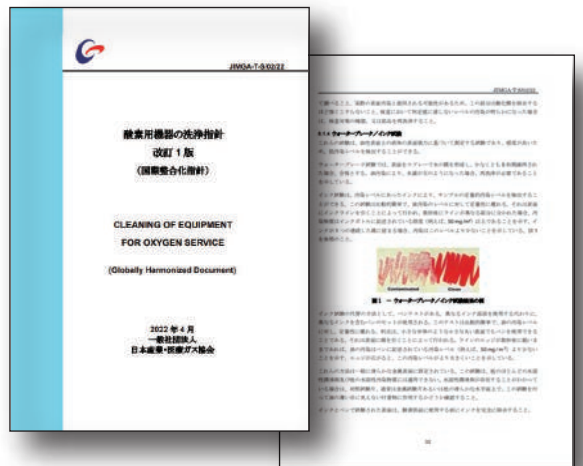
「酸素用機器の洗浄指針」改訂版発行

- ・タイトル：酸素用機器の洗浄指針
- ・基準番号：JIMGA-T-S/02/22
- ・発行年月：2022.4(改訂1版)

本書は、国際整合化指針をもとに2003年に策定した指針を改訂したものです。

液体酸素および酸素ガスの製造、貯蔵、供給、および使用において用いられる機器の洗浄、検査、梱包、および取り扱いに関する必要条件について説明しています。

対象機器は、定置式貯蔵タンク、ローリ、鉄道車両等のタンク、熱交換器、蒸留塔等の圧力容器、コンプレッサーやポンプおよび関連配管、バルブおよび計装機器等で、酸素と接触する部品の清浄度を維持し、火災、爆発または燃焼促進のリスクを減らし、安全に使用していただくことを目的としています。



今回ご紹介したJIMGA基準・指針類は、下記JIMGAウェブサイトよりダウンロードが可能です。会員ログインのうえ、ご利用ください。

<https://www.jimga.or.jp/publication/books/index.php?c=002002&department=&format=1&page=1>

(会員種別によりご覧いただけない場合があります。詳しくはJIMGA本部までお問合せください)

技術・保安グループ 事務局

在宅酸素療法火災予防啓発 動画(2022年版)リリースについて

JIMGAでは、2006年、2007年に在宅酸素療法火災予防啓発動画「携帯用酸素ボンベの取扱いの注意」、「在宅酸素療法における火気取扱いの注意」を制作しましたが、この度内容を刷新し、2022年版をリリースいたしました。

従来と同様にJIMGAウェブサイトから無料で動画視聴が可能です。以前はデータのダウンロードが必要でしたが、今回は動画再生ボタンをクリックすればそのまま視聴が可能です。スマートフォン、タブレット、PCから簡単に視聴できますので、患者様やそのご家族に周知いただき、在宅酸素療法を正しく理解いただけるようご活用ください。

URLまたはQRコードで動画にアクセス!

URLまたはQRコードでページにアクセスの後、 ボタンのクリックで無料で動画を視聴できます。

「携帯用酸素ボンベの取扱いの注意」(10分24秒)
https://www.jimga.or.jp/hot/zaitaku_keitai/



「在宅酸素療法における火気取扱いの注意」(7分11秒)
https://www.jimga.or.jp/hot/zaitaku_kaki/



DVDの販売

「携帯用酸素ボンベの取扱いの注意」(約10分)、「在宅酸素療法における火気取扱いの注意」(約7分)の2本を収録したDVDを受注生産で販売いたします。JIMGA物品販売サイトより購入することができます。※1

※1 DVD販売価格は、4,400円/枚(税込み、送料込)。JIMGA物品販売サイトへの掲載は、10月中旬以降を予定しております。また、受注生産の関係上、お届けには1か月程度の時間を頂戴いたします。



DVDジャケット 表面



裏面

在宅酸素療法における事故がなくなり、皆さまにご家庭で、安心して安全にご使用いただける一助になりましたら幸いです。

(技術・保安グループ 事務局)

ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2022年8月15日~2022年10月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2022年8月15日~2022年10月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→<https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2022.10.13 下請取引適正化推進月間（11月）のお知らせ
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1266>
- 2022.10.07 改正フロン排出抑制法に関する説明会のお知らせ
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1265>
- 2022.10.04 爆発物の原料となり得る劇物等の適正な管理等の徹底について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1264>
- 2022.09.30 JIMGA REPORT 2022を発行しました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1263>
- 2022.09.21 在宅講習会『令和4(2022)年保守点検従事者研修講習会(新規)』申込について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1249>
- 2022.09.20 封キャップの価格改定について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1260>
- 2022.09.20 災害時緊急掲示板「台風・暴風雨による被害情報」を開設しました→9/26閉鎖
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1259>
- 2022.09.16 【気象庁連絡事項】台風第14号について（暴風や高波、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重警戒。高潮に警戒）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1257>
- 2022.09.16 職場における新たな化学物質規制導入に関するお知らせ
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1256>
- 2022.09.15 危険物運搬車両に対する指導取締りの実施について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1261>
- 2022.09.15 第25回日本医療ガス学会学術大会・総会のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1255>
- 2022.09.15 医療ガス容器点検キャンペーンを定着させよう～医療ガス容器保安対策指針の推進～
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1254>
- 2022.09.15 医療用医薬品を特定するための符号の容器への表示等について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1253>
- 2022.09.14 医療機関等への支援に関する新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」等の活用について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1251>

- 2022.09.14 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更について（周知依頼）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1250>
- 2022.09.06 【気象庁連絡事項】台風第11号について（第8報）（暴風やうねりを伴った高波、高潮、土砂災害に厳重に警戒、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒）【経産省】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1248>
- 2022.09.05 第28回受託責任者更新時講習会 オンデマンド講習会の再募集等のお知らせ
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1246>
- 2022.09.02 【気象庁連絡事項】台風第11号と前線に伴う大雨について（第4報）（暴風や高波に厳重に警戒、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒）【経産省】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1247>
- 2022.09.01 【気象庁連絡事項】台風第11号と前線に伴う大雨について（第3報）（暴風や高波に厳重に警戒、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒）【経産省】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1245>
- 2022.09.01 在宅更新時講習会 オンデマンド仮登録確定通知日について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1240>
- 2022.08.31 2022年9月の「価格交渉促進月間」の実施について（周知依頼）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1244>
- 2022.08.31 【気象庁連絡事項】台風第11号と北日本の前線に伴う大雨について（第2報）（暴風や高波に警戒、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒）【経産省】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1243>
- 2022.08.31 JIMGAnews 第71号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1242>
- 2022.08.31 令和4年台風11号に対する警戒と安全確認の対応について【厚生労働省 依頼】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1239>
- 2022.08.30 【気象庁連絡事項】台風第11号と北日本の前線に伴う大雨について（暴風や高波に厳重警戒、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、高潮に注意・警戒）【経産省】
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1241>
- 2022.08.22 第28回受託責任者更新時講習会、令和4(2022)年保守点検従事者研修講習会開催のご案内<第3報>のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1231>
- 2022.08.19 「医療用酸素用一般複合容器のMED刻印シール貼付および再検査期間延長に関するQ&Aの一部改正」についての補足説明
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1238>
- 2022.08.17 医療用酸素用一般複合容器の再検査期間延長について(一部改訂)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1237>
- 2022.08.15 医療用酸素用一般複合容器のMED刻印シール貼付および再検査期間延長に関するQ&Aの一部改訂
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1236>



新事務局員の紹介



名 前：佐藤 寿郎（さとう じゅろう）

現住所：千葉県大網白里市

出身地：新潟県

略 歴：1988年4月 日本酸素(株) 入社

2011年10月 大陽日酸(株) ホームケア課長

2013年4月 日本メガケア(株) 出向 東京支店長

2016年11月 パシフィックメディコ(株) 出向 営業本部長

2020年10月 アイ・エム・アイ(株) 出向 PM事業本部長(合併による)

2021年10月 アイ・エム・アイ(株) 出向 事業統括本部副 本部長

2022年10月 JIMGA 常務執行役員

趣 味：趣味は海釣りで週末は千葉県外房の海で小アジと稀にヒラメを釣っています。釣りとともに満天の夜空の下で仲間とバーベキューやたき火をしながら日本酒を飲むのを至上の喜びとしています。他には珈琲好きなので、千葉県の山里にあるひっそりしたカフェを探しに行ったりしています。素敵なお店が多いので是非千葉までお越しください。

抱 負：大陽日酸（日本酸素）に入社して産業ガスの営業を皮切りに、後半の25年超は医療ガスと医療機器の営業を幅広くやってまいりました。特に最近は人工呼吸器メーカーにいたことから、医療ガスの知識だけでなく医療機器での医療ガスの使われ方などを現場で見てまいりました。僅かばかりではございますが保安教育などお手伝いできればと存じます。また、長年医療業界にいたことで診療報酬など比較的詳しい方だと思いますので、お困りな時はお尋ねください。今後は業界発展の為に尽力してまいりますので宜しくご指導の程お願い申し上げます。



気ままに コラム

あまり盛り上げていない？ようですが、11月にサッカーのカタールワールドカップが開催されますね。ワールドカップといえば、もう2年前になりますが日本で開催されたラグビーワールドカップ、日本代表が活躍してとても盛り上がりました。ワンチーム、ジャッカル、ノットリリース、ノックン・・・マイナーなラグビー用語が巷に溢れました。もう、多くの方が用語を忘れてますよね。当時、運よくニュージーランドと南アフリカの決勝戦のチケットを入手！さすがにワールドカップの決勝。競技場の中はたくさんの国々の人で大いに盛り上がりました。飲み物はハイネケン一色。あまりの広告アピールに飲み物はビールだけだった印象。試合結果は南アフリカが前評判を覆してニュージーランドに快勝。試合終了後はノーサイド精神で新横浜一体が人種のるつぼで大盛り上がり。楽しかった。さて、もうすぐサッカーのカタールワールドカップ！がんばれニッポン！

(企画・事業グループ 能瀬 憲宏)

